

大阪経済の情勢（2024年2月指標を中心に）

「大阪経済は、持ち直しの動きに一服感がみられる」

需要面では、個人消費は、持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額は増加。家電販売額、新車販売台数は減少。家計消費支出(近畿;1月)は減少。投資は、持ち直しの動きに一服感がみられる。住宅投資は減少、非居住用建設投資は増加。公共投資は減少。輸出は、持ち直しの動きに一服感がみられる。輸出額は減少。主要国向けでは、アジア向け・中国向け・ASEAN向け・EU向けで減少。輸入額は増加。

供給面では、生産動向は、一進一退で推移している。大阪府(1月)は、生産、出荷はともに低下。近畿の生産(1月)は低下。全国の生産(2月)は低下。企業倒産では、件数は悪化、負債金額は改善。雇用は、持ち直しの動きに一服感がみられる。近畿の失業率は悪化。有効求人倍率、新規求人倍率はともに低下。所定外労働時間(1月)は低下。

先行きでは、物価上昇等による経済への影響や、世界の経済・金融の動向について、引き続き注意が必要のほか、自動車メーカーの生産停止の影響などにも注意が必要である。

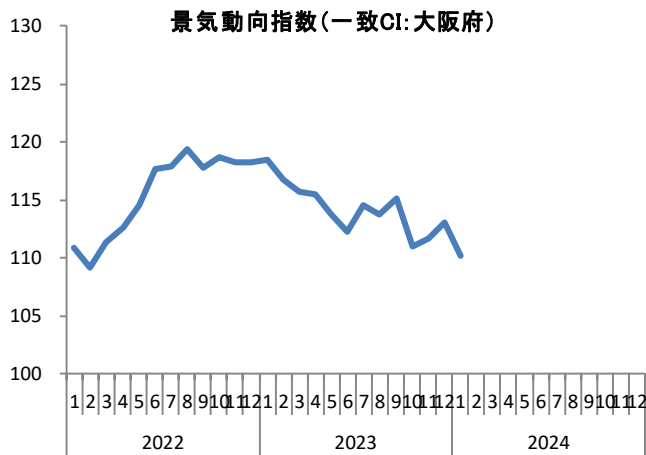
	需要								
	総合 一致CI (大阪)	消費				投資		貿易・観光	
		大型小売店 販売(大阪)	コンビニ 販売(近畿)	家電販売 (大阪)	新車販売 (大阪)	新設住宅着 工(大阪)	建築物着工 (大阪)	輸出 (近畿)	関空外国人 旅客
2月		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
1月	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

	供給				
	生産		倒産	雇用	
	生産指数 (大阪)	生産指数 (全国)	倒産件数* (大阪)	有効求人倍 率(大阪)	失業率* (近畿)
2月	▲	▲	▲	▲	▲
1月	▲	▲	▲	▲	▲

*前年同月と比較し、上向き矢印は「景況改善」、下向き矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向き矢印となる。

●景気動向指数(CI)

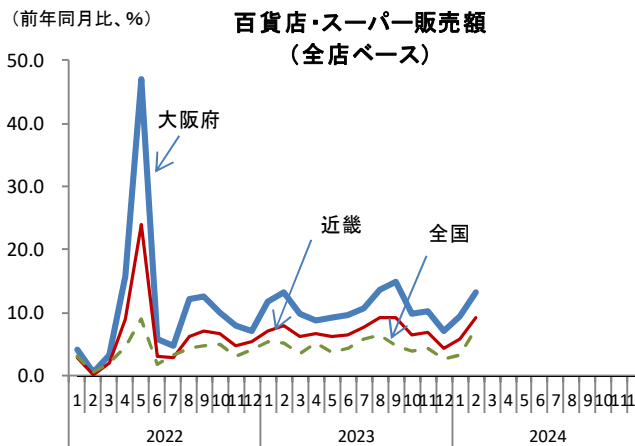
大阪府(1月)では、一致CI、先行CIはともに低下。大阪府(一致CI)では、主に「大阪税関管内輸入通関額」「製造工業生産指数」が低下に寄与。



(資料)大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」 ※2020年=100

●個人消費

個人消費は、持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額は増加。家電販売額、新車販売台数は減少。家計消費支出(近畿;1月)は減少。



(資料)近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」

一致CIの個別系列の寄与度* (大阪府、1月速報)

百貨店売場 面積当たり 販売額	大阪税関 管内輸入通 関額	製造工業 生産指数	生産財 出荷指数	人件費比率 (製造業)	有効求人 倍率	所定外労働 時間指数 (製造業)
0.53	▲0.79	▲0.75	▲0.75	▲0.31	▲0.33	▲0.36

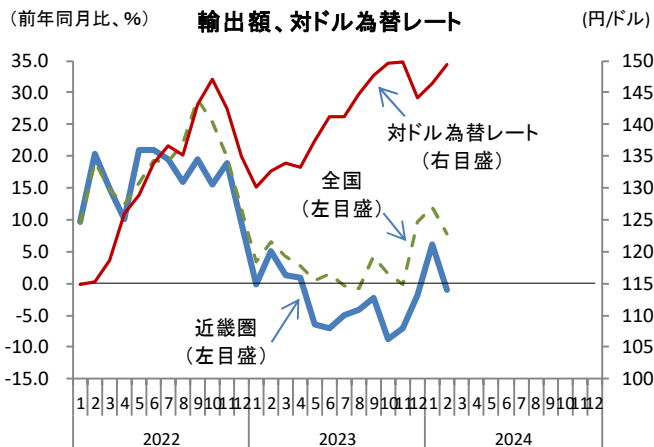
※CIの変化が、個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

業態別の増減 (大阪府、全店、前年同月比 (%))、2月速報)

大型小売店 合計		13.2
うち	百貨店	21.3
	スーパー	4.9

●貿易

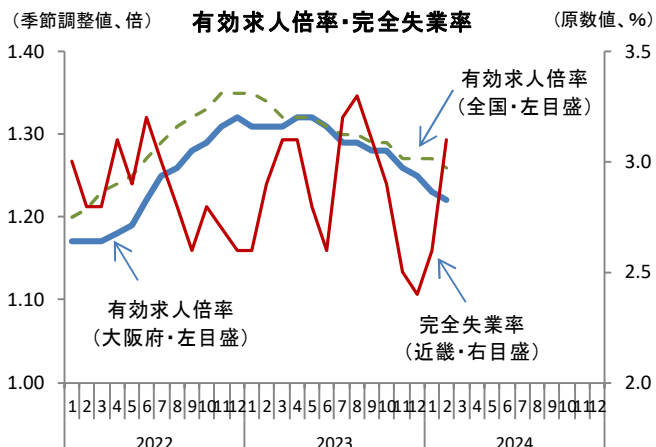
輸出は、持ち直しの動きに一服感がみられる。輸出額は減少。主要国向けでは、アジア向け・中国向け・ASEAN向け・EU向けで減少。輸入額は増加。



(資料) 大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」 ※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

●雇用

雇用は、持ち直しの動きに一服感がみられる。近畿の失業率は悪化。有効求人倍率、新規求人倍率はともに低下。所定外労働時間(1月)は低下。



(資料) 厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」 ※近畿の完全失業率は原数値。

主要地域(国)別の増減(近畿、前年同月比(%))、2月速報)

アジア(含む中国)	▲2.6	2ヶ月ぶりの減少
中国	▲7.0	3ヶ月ぶりの減少
ASEAN	▲0.5	11ヶ月連続の減少
EU	▲7.7	5ヶ月連続の減少
アメリカ	5.1	3ヶ月連続の増加

(資料) 大阪税関「近畿圏貿易概況・速報」

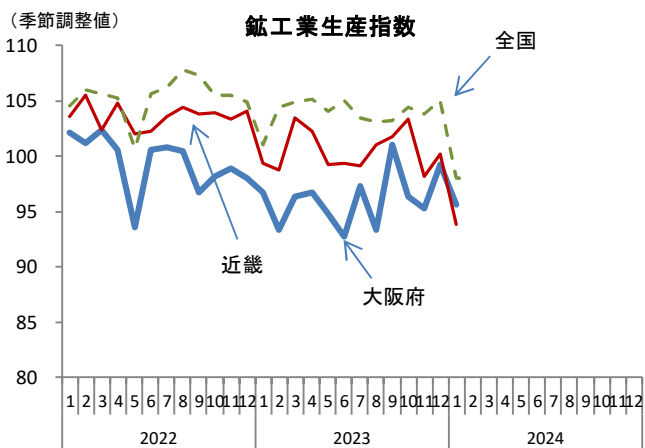
新規求人数の主要産業別増減(大阪府、前年同月比(%))、2月)

産業計	▲6.8
建設業	▲13.7
製造業	▲8.2
卸売業、小売業	▲6.1
宿泊業、飲食サービス業	0.3
医療、福祉	1.8

(資料) 大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

●生産

生産動向は、一進一退で推移している。大阪府(1月)では、生産、出荷はともに低下。近畿の生産(1月)は低下。全国の生産(2月)は低下。



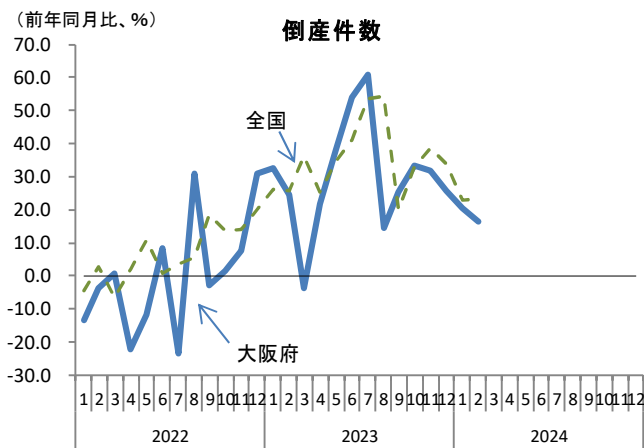
(資料) 大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」 ※2020年=100。

産業別の主な変動(大阪府、前月比(%))、寄与度順、1月速報)

上	電子部品・デバイス工業 (183.3) : アクティブ型液晶パネル
昇	石油・石炭製品工業 (7.5) : 精製・混合原油油、軽油
低	化学工業 (▲10.8) : 化粧品、石けん箱
下	汎用・業務用機械工業 (▲11.4) : 一般用パルプ・コック、パッケージ形エアコン

●倒産

企業倒産では、件数は悪化、負債金額は改善。



(資料) 東京商工リサーチ「倒産月報」

主な倒産(大阪府、2月)

業種	負債額(百万円)
金属熱処理加工業	1,652
包装用フィルム製造加工	510
歯科医院経営	500